

# URのエリアリノベーション支援の取組

令和8年6月19日  
独立行政法人都市再生機構

## 概 要

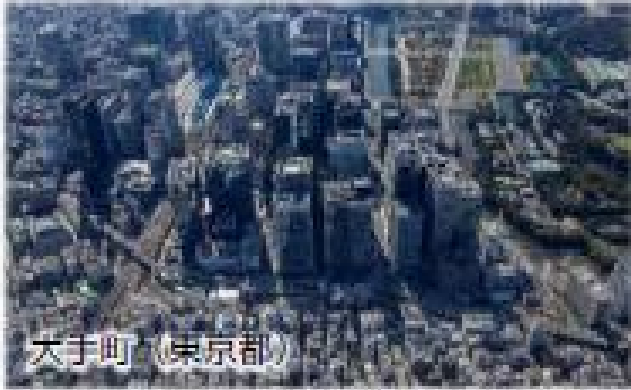
名 称	独立行政法人都市再生機構 (Urban Renaissance Agency)
設 立	平成16年7月1日
所 在 地	神奈川県横浜市中区本町6-50-1
資 本 金	9,880億円 ※令和7年4月1日現在
設 立 根 拠 法	独立行政法人通則法、独立行政法人都市再生機構法
主 務 省	国土交通省
職 員 数	3,225人 ※令和8年4月1日現在
ホームページ	<a href="https://www.ur-net.go.jp">https://www.ur-net.go.jp</a>

## 沿 革



## U R の 業 務

### 都市再生



### 賃貸住宅



### 震災復興・災害対応支援



# URの都市再生業務の特徴

URは、まちづくりの様々な段階における支援内容を用意しており、公共性・中立性・ノウハウを活かし、多様な主体とのパートナーシップの下、コーディネートや事業を通じて、都市再生を推進している。

- まちの課題がわからない…
- 防災や安全に不安が…

## Design

### まちづくりのシナリオづくり



北砂三・四・五丁目地区(密着市街地整備事業) URとまちづくり協議会によるまちづくり模擬イベント

URは、まちづくりの課題の把握や、その課題に対応した施策を検討し、構想・計画づくりの段階から支援します。

- まちづくり協議会の設立・運営支援
- 開発コンセプトや、地区の整備方針・整備計画等の検討・策定支援
- 先を見据えたエリアマネジメントの計画策定及び必要に応じて組織立ち上げ支援
- 専門家によるアドバイスや勉強会の実施支援

- 事業経験がなく、進め方がわからない…
- 民間事業者はどうすれば誘致できるのか…

## Planning

### 施策の具体化に向けて



長岡市大手通坂之上町地区(市街地再開発事業等) 再開発建物の完成イメージパース  
※このイメージパースは、今後変更となる可能性があります。

URは、土地の利用方法や用いる手法、行政や権利者等との合意形成に向けた協議等、施策の実現に向けた具体的な計画策定を支援します。

- 事業化に向けた合意形成支援
- 多様なネットワークを活かした事業者等の紹介
- 公平中立な立場での民間事業者の参画誘導
- 地区計画の規制・誘導手法の検討

- 権利者調整や行政協議がうまく進まない…
- 事業を進めるマンパワーが不足している…

## Action

### まちづくり実現のための施策実施



四谷駅前地区(市街地再開発事業) 横構施行により建築中の再開発建物

URは、法手続きや、民間事業者の参画誘導を含め、事業や施策の円滑な実施を支援します。また、UR自ら事業を実施することも可能です。

- 都市計画等の法手続き支援
- まちづくりの実現に必要な不可欠な用地の早期取得
- 社会実験の実施及びその効果検証
- UR自ら施行する開発事業や公共施設の直接施行等を通じた基盤整備

- 事業完了後の維持運営はどうすれば…
- 地域の魅力をより高めたいのだが…

## Sustain

### 持続的なまちづくり



新虎通りくエリアマネジメント<> 新虎通り沿いに建つ賑わい施設

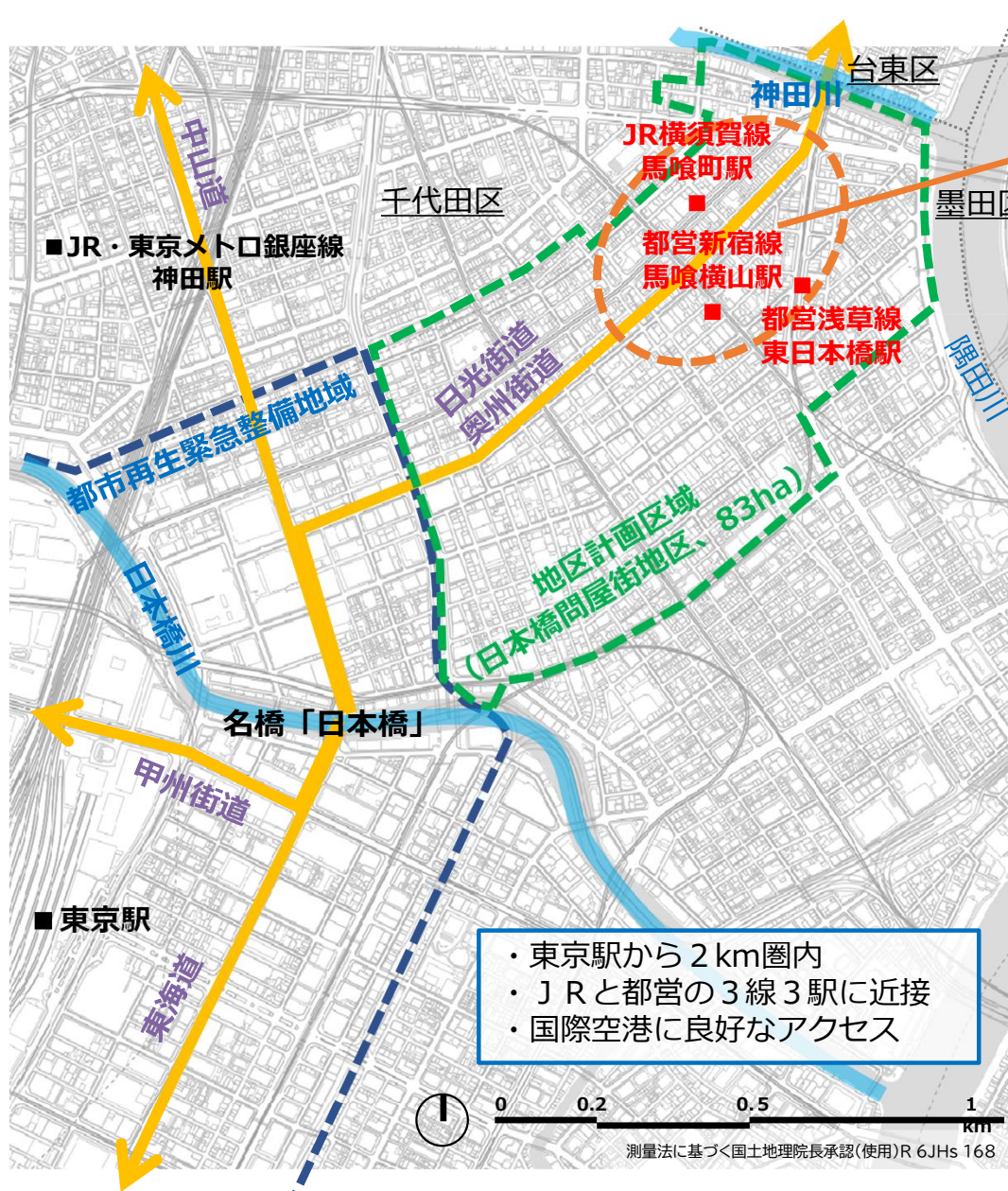
整備後の地域における良好な環境の維持・改善や地域の価値を向上させるためのエリアマネジメントの取組を支援します。

- エリアマネジメント組織の立ち上げから管理・運営まで、一体的な支援
- URが立ち上げに関わったエリアマネジメント組織においては必要に応じて、自ら組織に参画し、活動を支援

エリアマネジメントは、コーディネート(シナリオづくり)の段階から始まり、施策実施のその先にある「持続的なまちづくり」を見据えて、長期的な目線で行います。

また、持続的なまちづくりの先に新たな課題があれば、必要に応じて、URは地域の皆様と共に新たなシナリオづくりに取り組みます。





日本橋横山町・馬喰町問屋街地区

### ▼約60年前の横山町

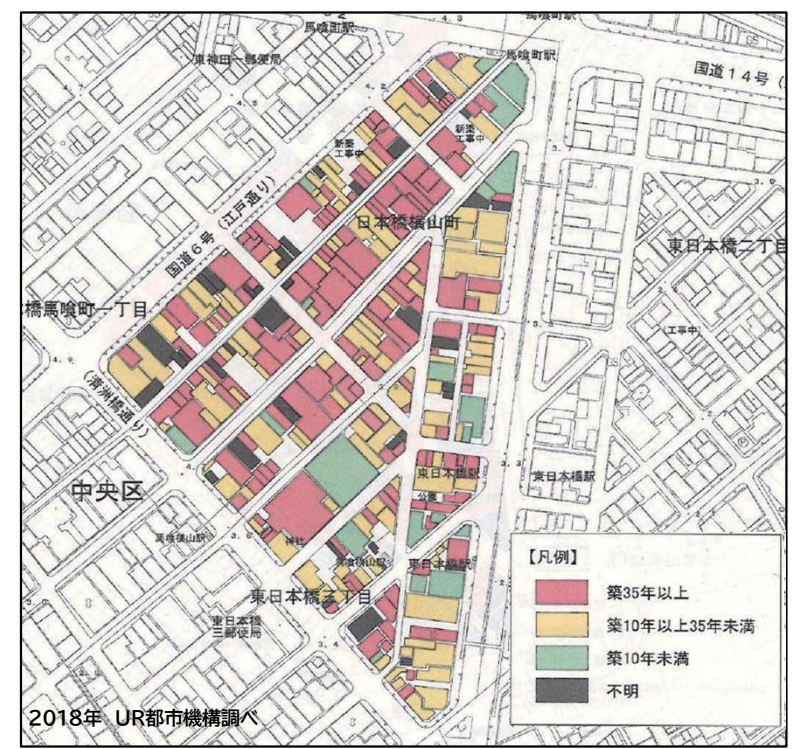
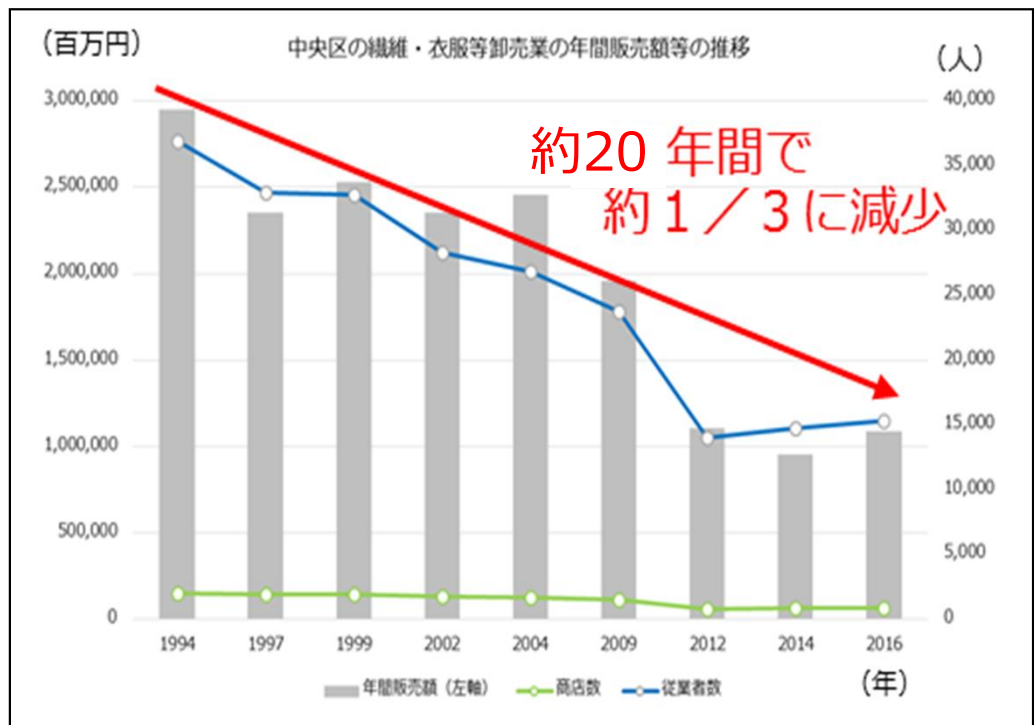


出典：中央区立京橋図書館

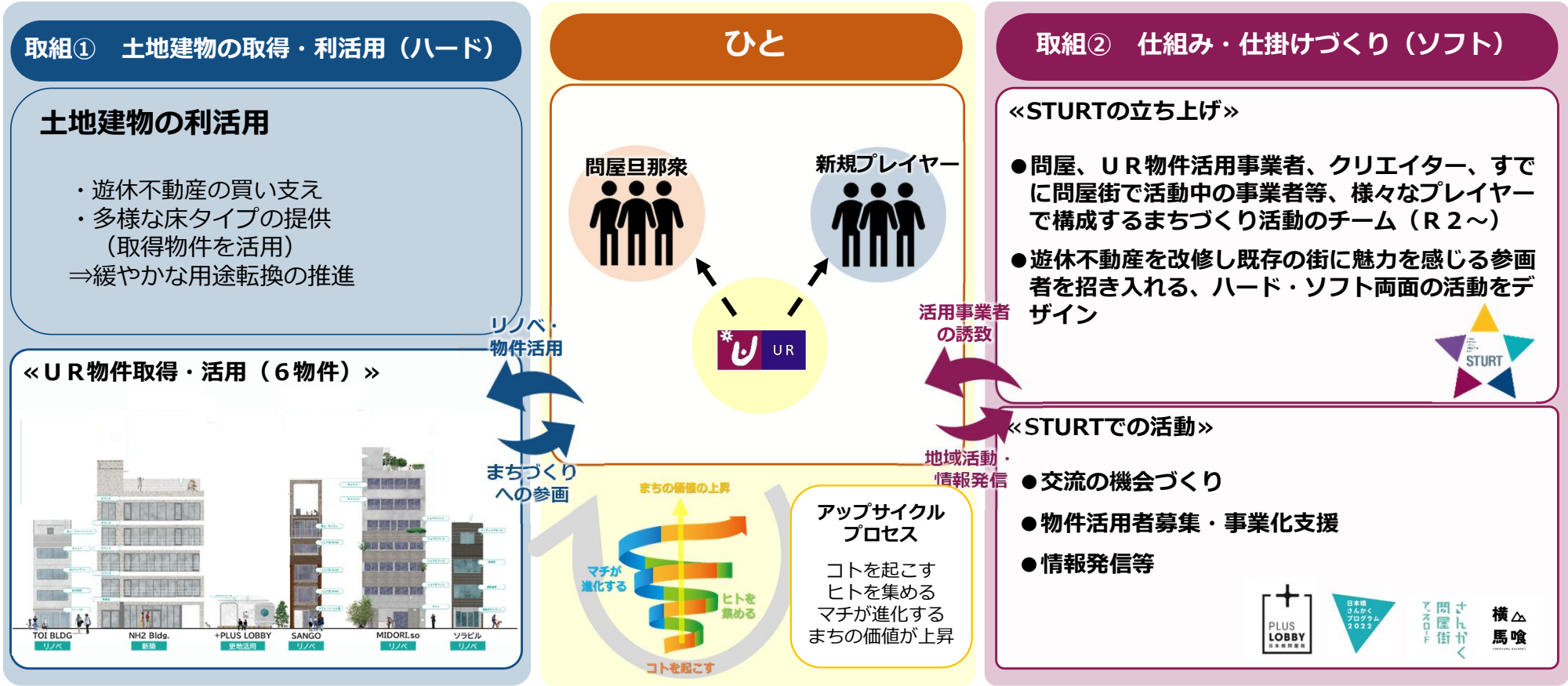
横山町・馬喰町を中心とする日本橋問屋街は、繊維関係を中心に、全国的にも例を見ない集積をみせており、特色ある地場産業のひとつとして、中央区の「活気とにぎわい」に大きく寄与してきた。

# 日本橋横山町・馬喰町問屋街地区 まちの特徴

- 流通形態や産業構造の変化の影響のほか、経営者の世代交代等も加わり、地域固有の産業である繊維問屋業を取り巻く環境は厳しい状況
- 建物老朽化に伴い、防災機能・景観の悪化とともに、廃業・売却  
→ 住宅、ホテル等への転用が進展
- ✓ **既存マーケットの縮小・ネット取引の増加** → **繊維問屋業の衰退・廃業**  
中央区の繊維・衣服卸売業の年間販売額は約20年間で約 1 / 3 に減少
- ✓ **建物の老朽化** → **防災機能の低下・景観の悪化**  
築35年以上の建物（赤色）が多く、地区全体で老朽化が進行
- ✓ **集合住宅やホテルへの建替（用途変更）が進行** → **まちに開かれた施設の減少**



URは、①地区内遊休不動産の取得・利活用（リノベ等） **【時間を止める】**  
 ②当該物件の活用事業者として新規の参画者を誘致 **【新たな“つながり”を創出】**



民間リノベ発現・旧問屋建物の多用途化

新規の参画者と地元の方々との融和

関係人口の拡大

# 日本橋横山町・馬喰町問屋街地区 物件活用によるリノベモデル・多用途導入例等のまちへの提示

まちに対する土地建物利活用の新たな選択肢の提示等に向け、物件に応じた取得・活用を実施

**4** **「さんかくプログラムによる起業支援」**  
Culture Generation Japan  
堀田 卓哉  
さんかくプログラムで参画した新たな起業家により、靴問屋を「うつわ」を軸としたギャラリー・スイーツバルとして再生

**6** **「短期回収可能な建て替えモデル」**  
H2 PLANNING  
玉木 宏道  
単独で確保困難な敷地を併合し、短期間で投資回収できる建物整備モデルにチャレンジ

**3** **「旧耐震建物の再生と屋上開放」**  
勝亦丸山建築計画  
勝亦 優祐・丸山 裕貴  
旧耐震の築前4層を耐震改修し、シェアSOHO+店舗として再生。違法増築部分、エレベーターを撤去し、屋上を開放。隣はSTURTの活拠点としてシェアピングとなった

**5** **「土地の買い支えによる事業の支援」**  
Mirai Institute  
小柴 美保  
元ゲストハウスを改修しカフェ・シェアオフィス・工房・ギャラリーとして再生MIDORI.soが建物を取得、URが土地を買い支えた。これまでないクリエイターを中心とした人の流れを創出している

**2** **「街にひらく設計事務所の呼び込み」**  
富川浩史建築事務所  
富川 浩史  
洋傘問屋を建築設計事務所へ改修。1階部分にギャラリーやイベントが開催できるスペースを設けることで、街に接点を持った設計事務所となっている

**1** **「空き地を使った仮設的交流拠点づくり」**  
パッチワークス  
唐品 知浩  
たまり空間のない問屋街に、テントと駐車場空地を活用し仮設的な交流拠点を創出。定期的なイベントにより新たな関係性を生み出している

**TOI BLDG**  
リノベ  
さんかくプログラム  
「靴問屋」  
S 58竣工

**NH2 Bldg.**  
新築(民間)  
土地合筆による中規模敷地の創出  
「服飾問屋2筆」

**+PLUS LOBBY**  
更地活用 新築(民間)  
短期・中期活用(短冊敷地)  
「木造の問屋」

**SANGO**  
リノベ  
旧耐震物件活用(耐震改修・適法化・縦動線分離)  
「ビーズ問屋」  
S 54竣工

**MIDORI.so**  
(民間による)建物取得+リノベ  
民間連携による物件活用  
「問屋→リノベホテル」  
S 39竣工

**ソラビル**  
リノベ  
1棟1テナント開かれた1階  
「洋傘問屋」  
S 58年竣工

# 日本橋横山町・馬喰町問屋街地区

## 4号物件（TOIビル）靴問屋→うつわを軸にしたコミュニティビル

- 令和2年度に取得した土地と建物を、令和4年度に改修し、マッチングした物件。
- 「うつわ」を軸としたこれからの“問屋”が集い、地域の事業者と地域を利用する人々、全国の作り手と街の間屋、日本とグローバル、それらがつながるコミュニティビルを目指す。1階は横山町で問屋を営む方がスイーツ&バルをオープン。



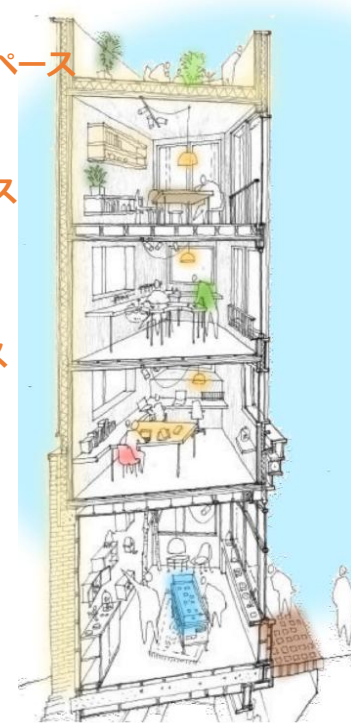
5F 器を「語る」  
会員制コミュニティスペース

4F 器と「仕事する」  
リエゾンオープンスペース

3F 器を「学ぶ」「作る」  
ギャラリー/FABスペース

2F 器を「買う」「借りる」  
ショップスペース

1F 器で「食す」  
スイーツ&バル



### 運営事業者 株式会社 Culture Generation Japan



- 「日本の伝統工芸や文化を現代のライフスタイルにあった事業に再構築し、次世代へとつなぐ」がモットーのビジネスプロデューサー
- 2005年モナコ大学でMBA取得後、(株)ホンダコンサルティング（グループ会社の経営指導等）に加入し、経営再建プロジェクトにプロジェクトマネージャーとして参画
- 2011年(株)CGJを設立。国内唯一の和食器サブスクリプション（定期定額レンタル）サービスを中心に、香港での店舗運営（地元企業とJV）、中国への卸売を展開
- 次世代にジャパンプランドの価値を紡ぐ人が集い、学びあう場「JAPAN BRAND PRODUCE SCHOOL」を運営
- メーカーや行政をはじめ、日本のモノづくりに係る幅広い方々にむけた支援事業も行う。

# 日本橋横山町・馬喰町問屋街地区 URの関与した物件一覧

- URは区域内の3本の通り沿いの不動産取得とリノベーション等の活用を順次進め、まちの方々と共に、持続可能なまちづくりに向けた体制構築、関係人口拡大・交流促進等の重層的な仕掛けを展開。

## 1号物件

+PLUSLOBBY⇒YYBASE  
(まちの窓口としての交流空間)  
2017年度 土地取得  
2020.10～2024.6 +PLUSLOBBY運営



地域交流会 面白いがる会

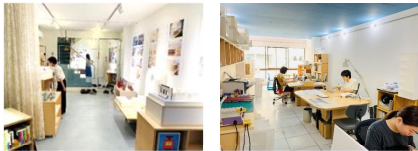
2025.4 YYBASE 完成  
1階はまちに開かれた飲食店  
2階インキュベーション施設



YYBASE

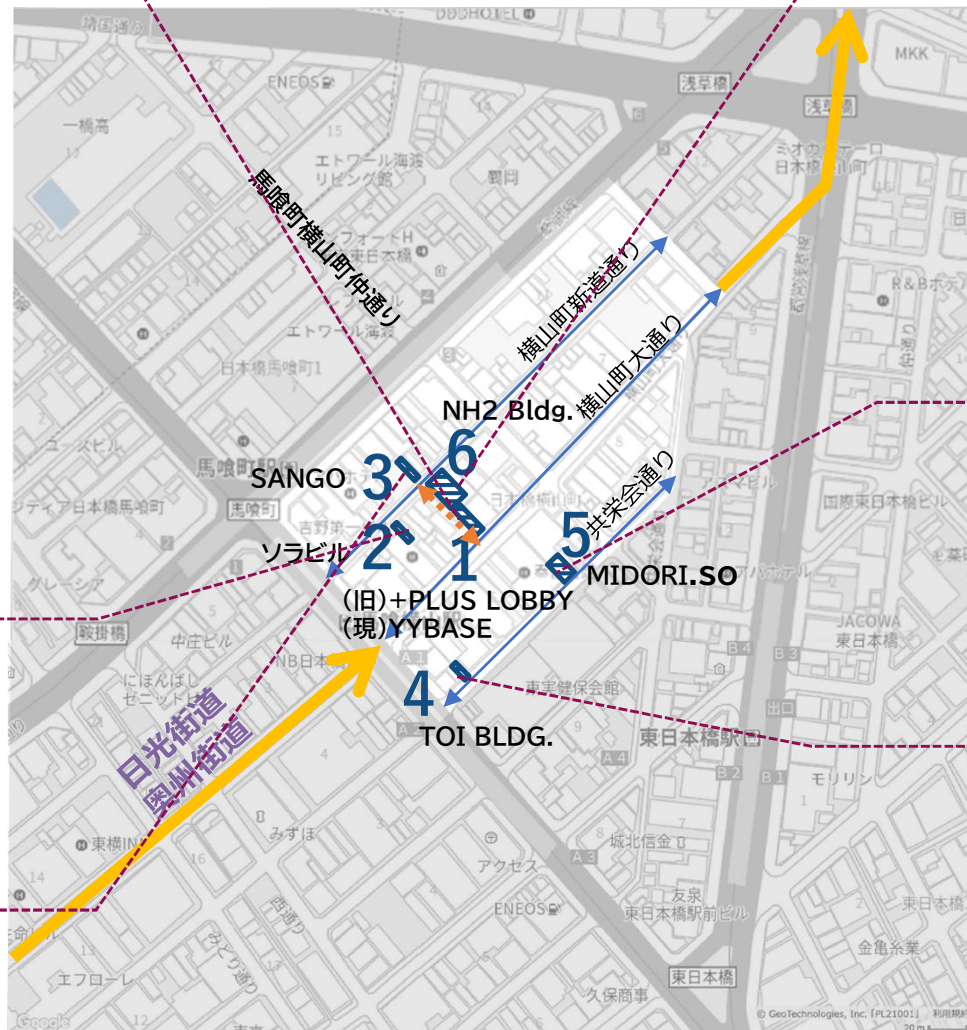
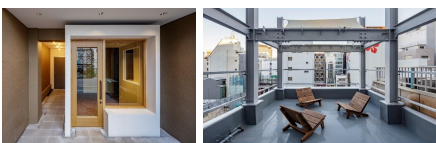
## 2号物件

ソラビル(元洋傘問屋)  
2019年度 土地取得  
2020年度 建築事務所+展示スペースに



## 3号物件

SANGO(元装飾問屋)  
2019年度 土地取得  
2021年度 カフェ+シェアSOHOに



1-6 UR取得物件

## 6号物件

エイチツー・ファクトリー(元アパレル問屋)  
2020年度 土地取得  
2024年度 カフェ+オフィスに



## 5号物件

MIDORI.so(元婦人服卸)  
2020年度 土地取得  
2021年度 カフェ+工房+シェアオフィスに



## 4号物件

TOIビル(元靴問屋)  
2020年度 土地取得  
2022年度 うつわを軸にしたコミュニティビルに



- リノベ物件が増加傾向にあり、問屋に限らない多用途化により、新たな属性の来街者も増加
- 昼夜で業態が変わる・長時間の営業等により、問屋の営業時間終了後のまちの賑わい創出にも寄与

HOUSE OF TERPSICHORE (花屋) 2023.11~



ひなべねこ (薬膳火鍋専門店) 2023.12~



Butterfly effect タオルカフェ 2017.2~



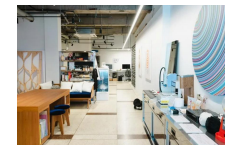
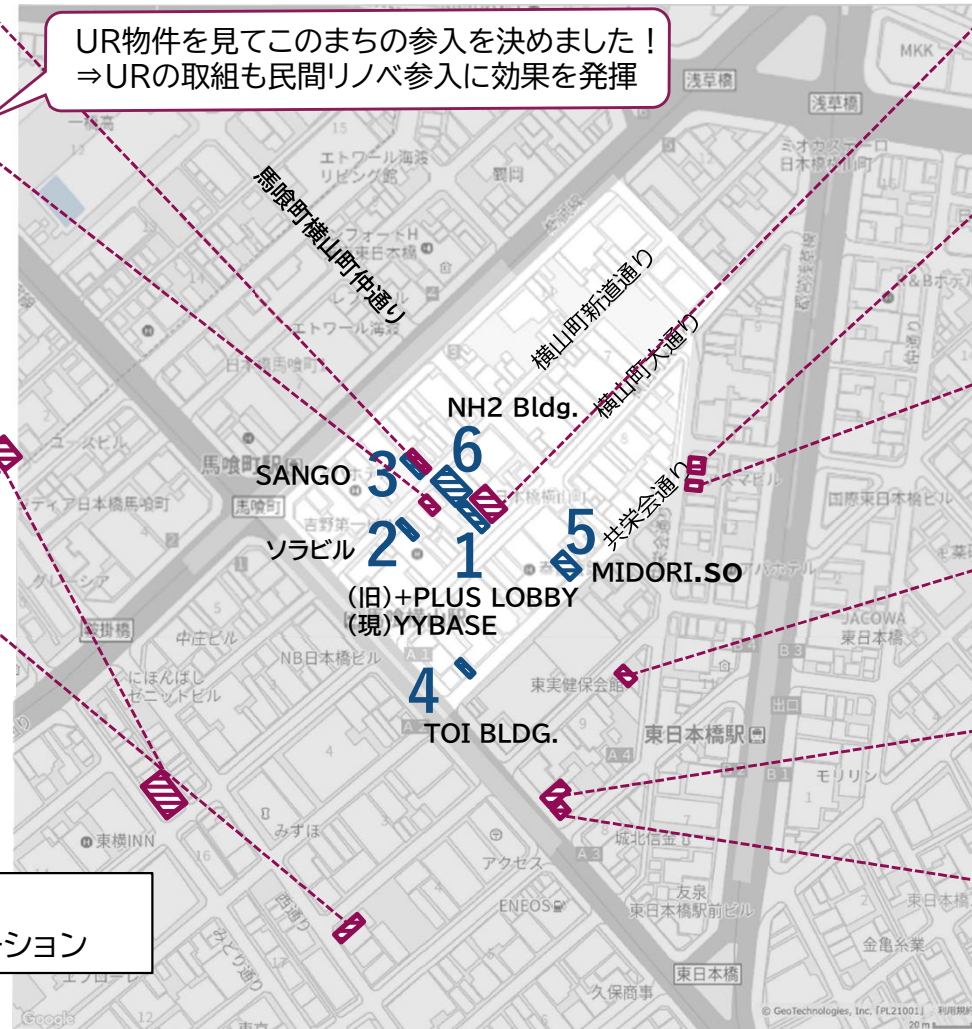
CITAN (ホステル/カフェ/bar) 2017.3~



Beaver Bread (パン屋) 2017.11~



UR物件を見てこのまちの参入を決めました！  
⇒URの取組も民間リノベ参入に効果を発揮



Konel (アート制作/研究開発/地下実験場) 2019.7~



Bakuro COMMON (レストラン) 2014.1~



stopover Tokyo (カフェ/バー) 2018.1~



Bouquet cafe&restaurant 2022.9~



Sauna ooo (サウナ/コワーキング/bar) 2022.4~



MIDORI.so NIHONBASHI (カフェ/宿泊型ワーキングスペース) 2025.6~

1-6 UR取得物件  
民間投資によるリノベーション

- 地元の方々とURが誘致した新規参画者が、これまでの活動を通じて多様な関係性を創出
- 新規参画者を通じたまちへの学生流入や、神田祭における新規参画者の神輿係抜擢など、新旧の融和・協働が進展

## ✓ STEP1 巻き込んでいく動き



**+ PLUSLOBBY**  
新規プレイヤー+地元、まちの窓口としての交流空間



イベントへの問屋の協力・参加  
TOI BLDG. x 地元問屋 x 大学、など

## ✓ STEP2 新しい活動へのかかわり



**アノビル展**  
建築事務所x学生x地元問屋、まちの建築物を考える

**定員 8人**

帽子好きや帽子で悩む人が創業100年超の問屋に集まる大人の部室

### 第2回 帽子部

6.20 (金) 時間: 18:30-21:00

部費: 500円  
会場: 帽子問屋 マンウ (馬喰横山)

問屋業を活かしたイベント実施  
帽子問屋xスナック部室

## ✓ STEP3 協働



街づくり会社新築YYBASEの不動産仲介  
日本橋横山町馬喰町街づくり会社xさんかく不動産



神田祭 (横山町大祭)  
地に混ざって新規プレイヤーで神輿係・担ぎ手

## 飲食店の集積と既存ビルを活用した新たな都市再生手法への挑戦

- 新虎エリアにて食をテーマとしたイノベーション創発のまちづくりを既成市街地のリノベーションとあわせて展開
- 食領域で社会課題解決に挑戦するスタートアップをまちぐるみで支援する枠組みとしてFoodαを設立

拠点施設

### Sustainable Food Park

知る

サステナブルな食の認知拡大  
⇒キッチンカー、販売会



### Sustainable Food Museum

出会う

・スタートアップ企業の展示・紹介  
・サステナブルな食体験  
⇒カフェメニュー、ポップアップ販売



### Sustainable Food Lab

繋がる

・東京都心の営業拠点(シェアオフィス)  
・協業創出に向けた関係性構築  
⇒テストキッチン、サロン



ソフト施策

### TORANOMON JUST RIGHT NEW FOOD

知る

スタートアップ企業の商材を使用したコラボメニューを  
地元飲食店が開発・提供



### Sustainable Food Night

出会う

スタートアップ企業を  
ゲストに招き、取組の紹介や  
試食、交流イベントを開催



新虎イノベーションイニシアティブ  
Foodα(フーダ)



TIBカタパルト(都事業)  
への採択(R7~R9年度)

- 『未来の「おいしい」が生まれるまち』をビジョンに掲げ、多様なプレイヤーの集積・交流促進を図り、イノベーション創出をまちぐるみで育む枠組みをURと民間企業4社にて組成
- 食領域の社会課題解決に取り組むスタートアップと大企業等とのマッチングや協業創出の支援プログラムなどを実施
- 東京都の事業(TIBカタパルト)にFoodαをベースとしたクラスターがフードテック・ウェルビーイング領域で採択



## 飲食店の集積と既存ビルを活用した新たな都市再生手法への挑戦

- 中小ビルをリノベーションし、スタートアップが入居できるオフィスや協業を促進する機能を持つ場を整備・運営
- 地元飲食店との連携や、虎ノ門のイノベーション施設等との連携により、イノベーション創発をまちぐるみで支援

### Sustainable Food Museum

- まちなかショーケースとしてフードテック商材やスタートアップ企業の紹介に加え、各種イベントやポップアップを実施
- テストマーケティングや市場調査の場としての活用や、イベント参加者等とのマッチングによる協業創出の場の役割

従前



従後 (R7.1拡大開業)



烏森通りに面した開かれた施設

フードテックショーケース

### Sustainable Food Lab

- 食領域のスタートアップ企業向けのシェアオフィス
- 食領域スタートアップ企業の活動拠点となるキッチンラボ

従前



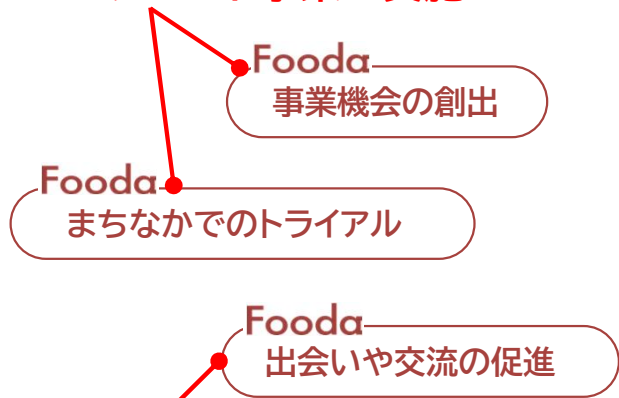
従後  
(R6.9  
開業)



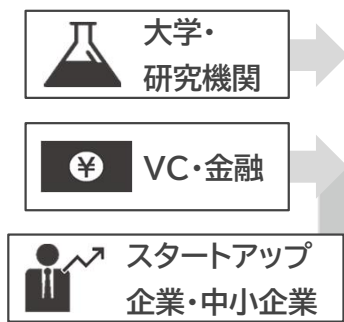
## 飲食店の集積と既存ビルを活用した新たな都市再生手法への挑戦

- まちなかは、用途混在や多様な人々の集積、開かれた場などのイノベーション創出のための素地を持っている
- URはまちが持つ『場の力』を磨き上げることで、既成市街地の価値向上や国際競争力強化に取り組んでいる
- Foodαは、『場』を整え(リノベーション)、『人』を呼び込み(機能導入やイベント開催など)、潤滑油となる『支援』のプログラムを展開(カタパルト事業)することでイノベーションを加速

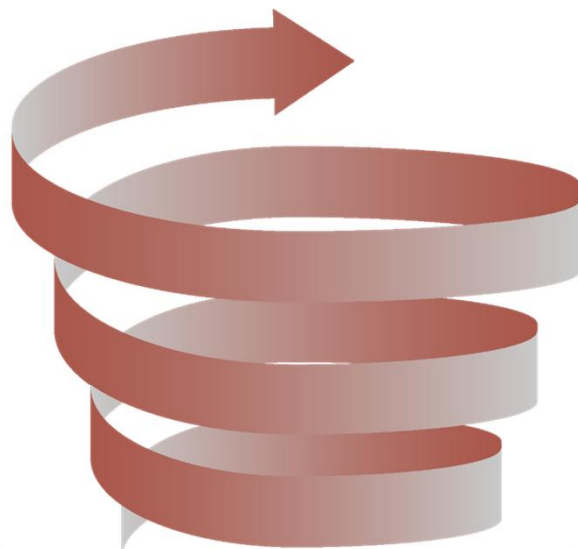
### TIBカタパルト事業で実施



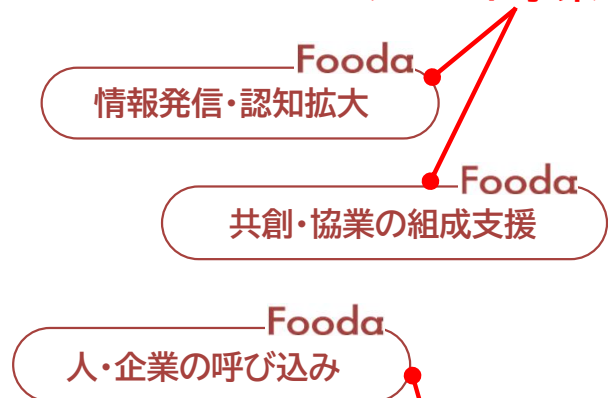
### SFMuseumやSFLabの運営



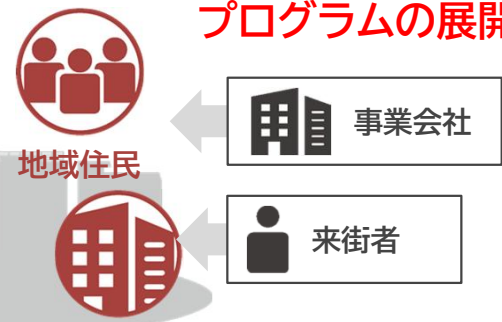
### イノベーションの加速



### TIBカタパルト事業で実施



### SFNightなどのイベントプログラムの展開



新虎エリア | 出会い・交流の場

リノベーションによる場づくり

- 当地区周辺は小諸駅前から公園・緑地が広がる緑豊かな環境であるとともに、3つの国重要文化財をはじめ、城下町の風情を残す歴史施設や市役所等の中核施設が在する。



# 小諸駅周辺地区・大手一丁目地区 小諸市の取組


- 小諸市は1990～2000年代、地価下落と、転出超過・人口減少、まちの空洞化を経験。
- 都市機能を集約再編した「こもテラス」や、「まちタネ広場」を整備し、市民活動の「場」を提供。
- 市職員有志を含む民間プロジェクトチームによる「開業したい人」と「空き店舗」を、マッチングする「おしゃれ田舎プロジェクト」をきっかけにエリアリノベーションが進む。
- 市は「ウェルネスシティ信州小諸」を構想に掲げ、自分らしく居られるまち、自分に還れるまちをめざす。

## ウェルネスシティ信州小諸

市民が健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな人生を営めるまち。  
 小諸市に関わる全ての人々が“自分に還る”“何度でも帰りたい”“住みたい”“住み続けたい”まち

### おしゃれ田舎プロジェクト

(市職員を含む地元有志の取組み)



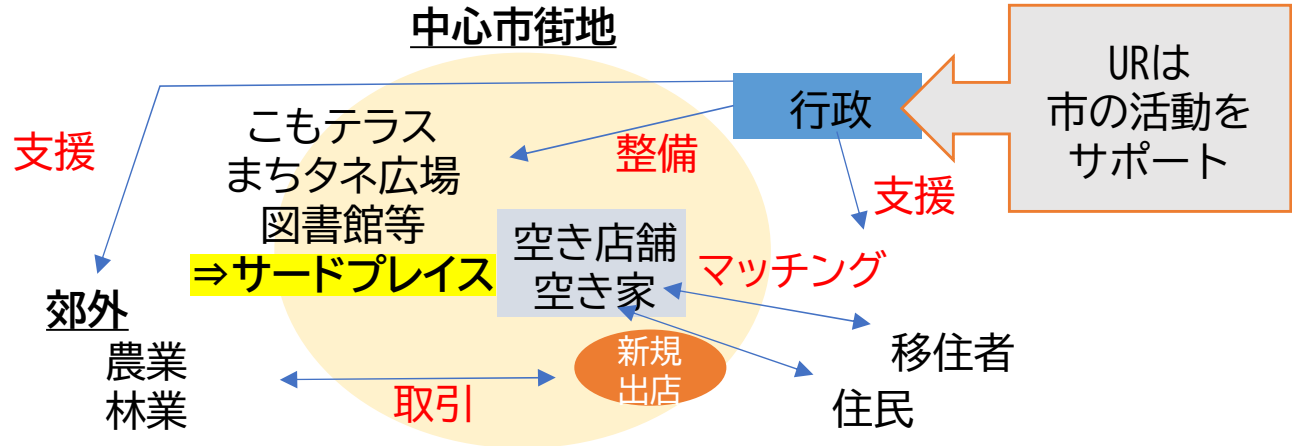
- ・ 民間事業者との連携、空き店舗の解消
- ・ 駅周辺の空き店舗への新規出店のマッチング支援

### こもろ・まちたねプロジェクト

(UR：管理運営体制検討支援、URLK：広場イベント運営支援)

- ・ 賑わいや滞留を生み出す滞在箇所創出を目的とした社会実験として、先行整備した「まちタネ広場」にてR4年より地域住民による自発的な取組、活動を継続的に開催（担い手の出現を促すための取組）

**R4～R7年とも年間取組約60件**



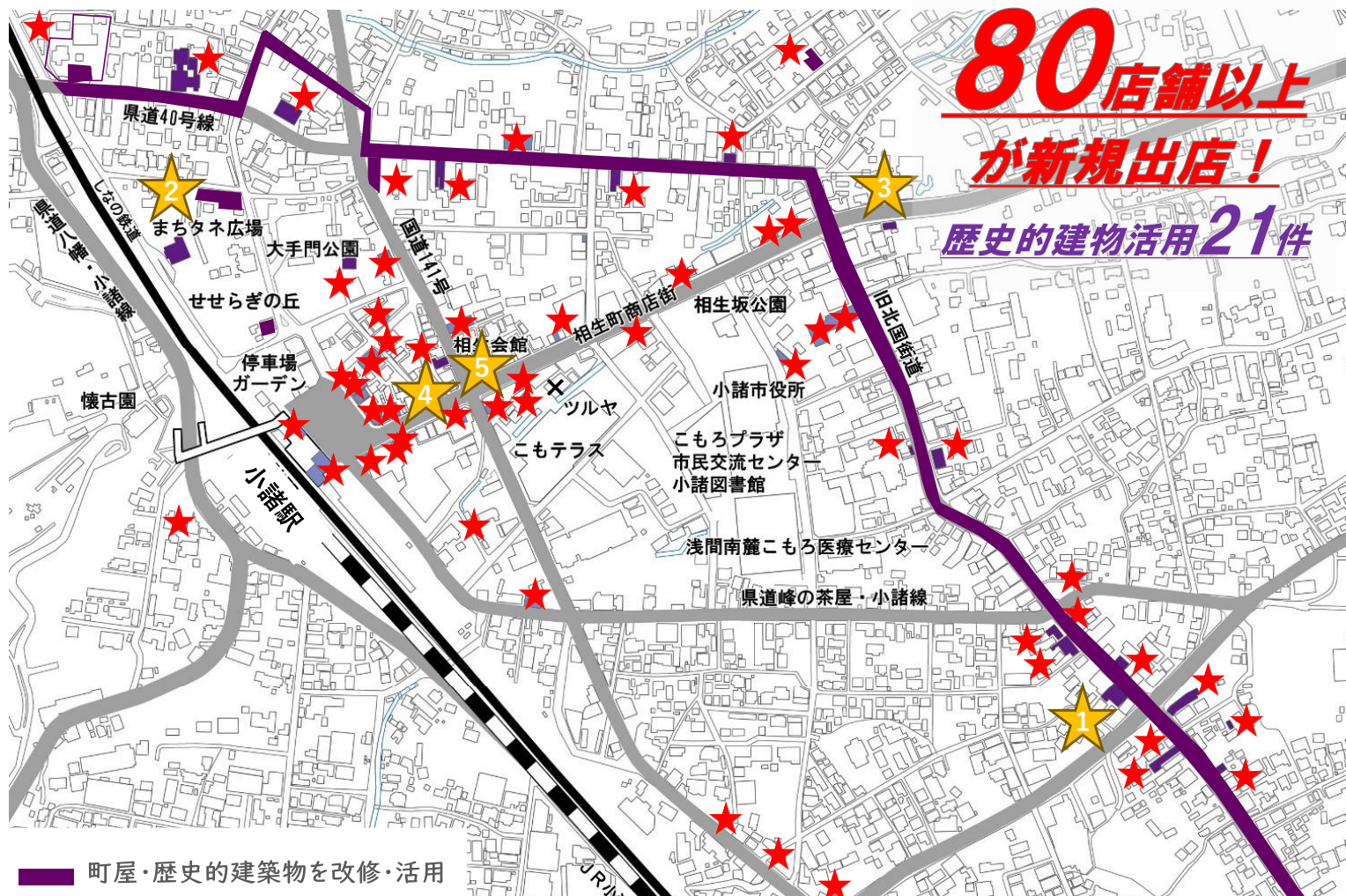
**【まちの変化】**

- 転入超過へ転換
- 過去6年間の新規出店・企業進出数は **100件超**
- 小諸市中心市街地の一角の地価が33年ぶりに **0.5%上昇**(2025年3月)

出典:小泉俊博(小諸市長)著「小さくてもキラリと光るまち小諸」三省堂書店/創英社、2025

## ■新規出店の増加 (R1~R7)

小諸駅周辺を中心に、移住者や民間事業者の開業が増加。  
特に旧北国街道沿いの町屋など歴史的な建造物の改修・活用も目立つ。



- 飲食店・居酒屋・BAR**  
Citta Slow、LacBlanc GRILL&BARGER、ピストロアオクビ、中華そば やまさだ、Bar Zizz、福味亭、オイスターバー&居酒屋 吉法師、フォーノイ、E'cuveこもろ、きっちんのえる、信州味噌ラーメン山吹、et cetera.、KOMORO HONJIN OMOYA、メキシカンダイナー-Calavera、レコードカフェ&バー CHAYA、呑み処 花の里、TIRAMIS、オーラ亭、マル志、ドメヌ・ドウ・アライ、NOVELS、コソリテ、中華居酒屋萬祥酒楼、中華ピストロ太一、ナパキッチン、nuit、蒼空、おにぎり カフェ揚羽屋、wacca、でんでん、タイ料理フレンド、文化の台所、Hello,World!、カドリー、3YUU、kado.komoro
- カフェ**  
小諸駅のみど、彩本堂、猫雑貨とカフェねこのや、FLORO café、CLOVE CAFÉ、NOVELS、喫茶あさま、ポーカークフェしらふ、kitidays
- 食品販売**  
Noël Cheesecake、デリカテッセン山吹、ハグリコファクトリー、itoka、薪窯パン保時鳥、鳥笑 グルメ横丁 みやび店
- 宿泊施設**  
脇本陣の宿 桑屋、揚羽屋、Vacation House Yorakura、星野ワルツ、NOVELS、MIKKE、CHOJURO
- 生活雑貨小物・美容室**  
估謨堂、洋裁屋atorie、organic hair salon parte、Hair Salon RittRe、LUFT、CAKES、許重ギャラリーダークアイズ、tag by calm、小春商店、FUKUZUCHI、TSUYA\_IRO、パピヨン・デ・ザール
- 企業・事務所**  
荒町TheGATE、合間、イノベーションこもろラボ、コモデザイン、SALAI International Japan、Wind.、aegise Technical Center Komoro、高野不動産、生物資源活用研究所、オーズ・クラフワーク

歴史的建物を活用した出店

★

コモドデザイン・估謨堂  
(設計事務所、雑貨販売)

★

KOMORO HONJIN OMOYA (イタリアン)

軽井沢からの移転・独立出店

★

d'omaine de arai  
(フレンチレストラン)

★

中華ピストロ 太一  
(中華料理)

民間による複合施設開発

★

NOVELS & 蒼空  
(ブックカフェ&ゲストハウス、ピザ・イタリアン)

★

## 歴史的建造物の活用による取組イメージ

**URは、まちタネ広場と一体となる歴史的建造物の活用により、小諸駅周辺地域未来チャレンジビジョン※の実現を支援**

※こもろ・まちたねプロジェクトにて小諸駅周辺の公民共創の環境づくりの方向性について取りまとめたビジョン(R6.3)



提供：株式会社URリンクージ



- 【物件の特徴】**
- ・まちタネ広場に隣接する明治期築の木造建築
  - ・木材問屋として使われた歴史的に価値のある建物

URは広場と建物の一体的な活用、管理運営体制の構築を見据え、公民が連携して交流を促す空間づくりのため、小諸市が実施する「まちタネ広場」の設計整備に対し助言等を実施。

- 従前の建物は、明治期築。居宅、店舗(事務所)、倉庫、物置として使用。
- URが物件を取得、保有しリノベーションの上、小諸市、UR、酢久商店株式会社により、大手門公園内にあるまちタネ広場に隣接する歴史的建物を利活用。
- 地元食材を活用した工房、カフェ等の運営を予定。

従前



従後



## 事業パートナー 酢久商店株式会社

- 1674年（延宝2年）創業
- 小諸市で生醤油の製造や味噌・甘酒などの販売を営む山吹グループの創業企業
- 北国街道沿いで日本家屋をリノベーションしたモダンな造りの直営店を複数運営



# 鹿沼市銀座地区（栃木県鹿沼市） 位置図

鹿沼市中心部（約100ha）※都市機能誘導区域  
【課題】「空き家・空き店舗の増加」と「まちの賑わい・活力の低下」



鹿沼今宮神社祭の屋台行事  
(ユネスコ無形文化遺産)

鹿沼市役所



今宮神社

まちの駅  
新・鹿沼宿  
(旧ジャスコ跡地)

銀座通り

JR鹿沼駅

現在の市役所

例幣使街道

→日光

現在の銀座通り  
商店街

黒川

鹿沼市HP-鹿沼デジタルアーカイブより転載

日光と京都を結ぶ「日光例幣使街道」の宿場町

## 【銀座通り】

かつて鹿沼市の中心で、商業店舗が集積  
現在は、モータリゼーションにより衰退、空き家  
等へ「歯抜け」が進行

東武新鹿沼駅

例幣使街道



1963(昭38)年頃



現在

鹿沼市より提供

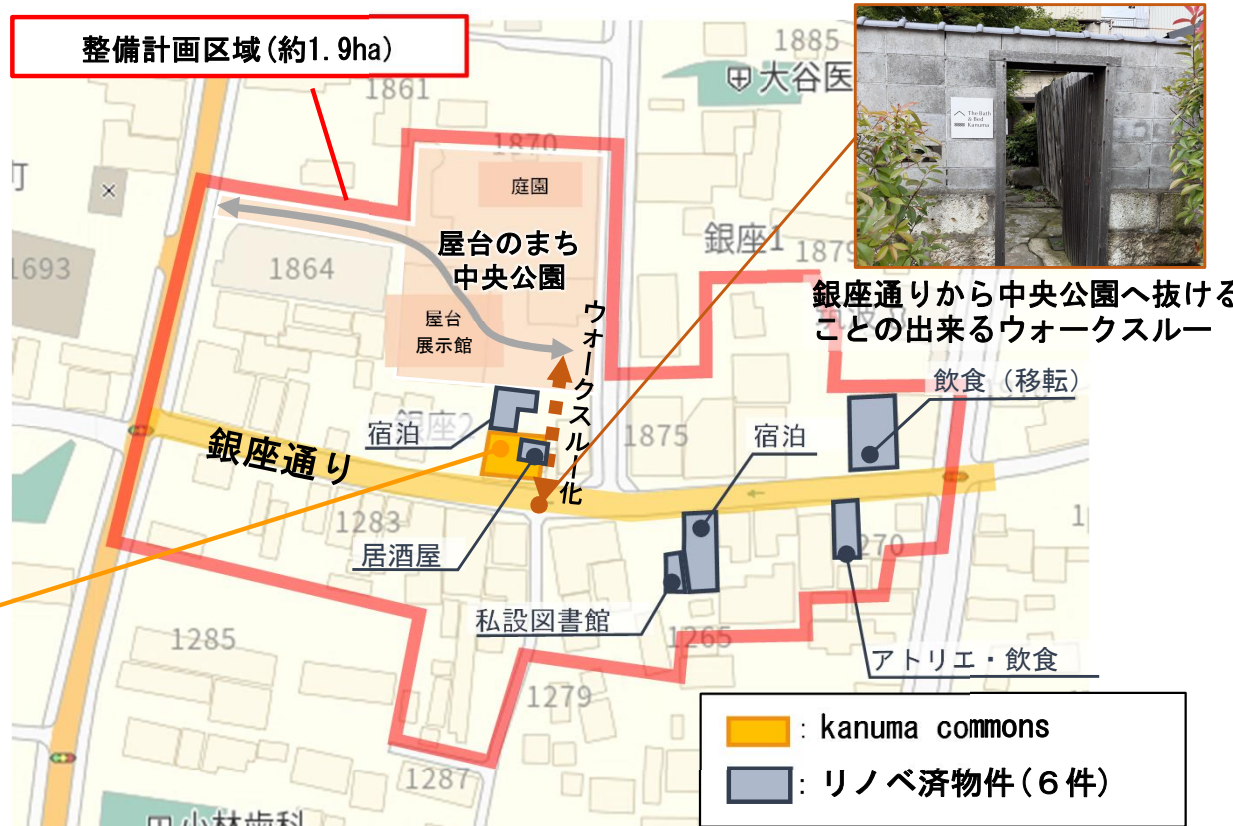
公民が連携して一体的に  
まちのリノベーションを進める

民地では、蔵・歴史建築を生かした  
にぎわい再生

公共空間(銀座通り、中央公園)では、  
ハレとケに応じた利活用



kanuma commons 1F「kanuma Stand」内観



© GeoTechnologies, Inc. 「PL21001」

リノベーションまちづくりの実現  
⇒ 地域経済の循環

1 地域主体・  
コンテンツの創出

2 kanuma commons  
での実証

3 まちなかでの  
経済活動の実装

4 投資を呼び込み  
地域による自走

地域主体の  
発掘・育成

チャレンジ  
ショップ

リノベーション先行事例として  
そのプロセスを示す

場づくりの連鎖(リノベーションの波及)



銀座通り  
↓  
多様な機能  
の集積



道路空間の利活用

活動のしみだし

市の進める「リノベーションまちづくり」を推進すべく、銀座通りで空き店舗となっていた物件「板屋ビルディング」の一部をUR都市機構が借り受け、2022年9月にkanuma commonsをオープン。地元企業JV(鹿沼銀座エリアリノベーション共同体)がUR都市機構と共に運営。

従前



従後



## kanuma commons 運営体制



### ◎ 空き物件所有者・出店希望者双方からの相談が増加

- ① 空き物件所有者の意識変化
- 既存建物活用への意識が醸成**
- 所有者からの売却・活用相談が増加  
(開設以前:0.5~1件/年⇒ 開設以降:**12件/年**)
- ② 新たな出店・活用ニーズの増加
- 新たな出店・活用の芽吹き**
- 創業等の相談持込み12件
  - 経営相談45件
  - kanuma Standを経て市内にパン屋、キャンドル工房などが出店



—— 社会課題を、超えていく。——

